

# テスト工程の開発文書品質

2011年11月11日

森川 聡久(ヴィッツ), 山本 雅基(名古屋大学)

システム開発文書品質研究会(ASDoQ)

# SIGオーナーの問題意識

2011年7月に、「システム開発文書品質研究会」を発足しました。通称は“ASDoQ”で、「アスドック」と読みます。ASDoQは、システム開発において作成する要求仕様書やアーキテクチャ設計書やテスト仕様書などの開発文書の品質を研究する任意団体です。

「開発文書の品質」という耳慣れない言葉をお聞きになった皆さまは、どのようにお感じになったでしょうか。「文書の品質とは?」、「国語の話でしょうか?」、「技術者の私には関係ないな」などという感想をお持ちの方が多いのではないでしょうか。あるいは、「文書品質は初耳だが、プログラム品質なら分かる」と少し踏み込んでお考えの方もいらっしゃると思います。

ASDoQが関心を持つ「開発文書の品質」は、国語の話だけではありません。構造化やオブジェクト指向や形式手法などのソフトウェア技術や、ソフトウェア開発プロセスの各アクティビティに対する深い理解など、広範囲に及びます。私たちは、システム開発文書品質に対して、多面的に取り組みたいです。

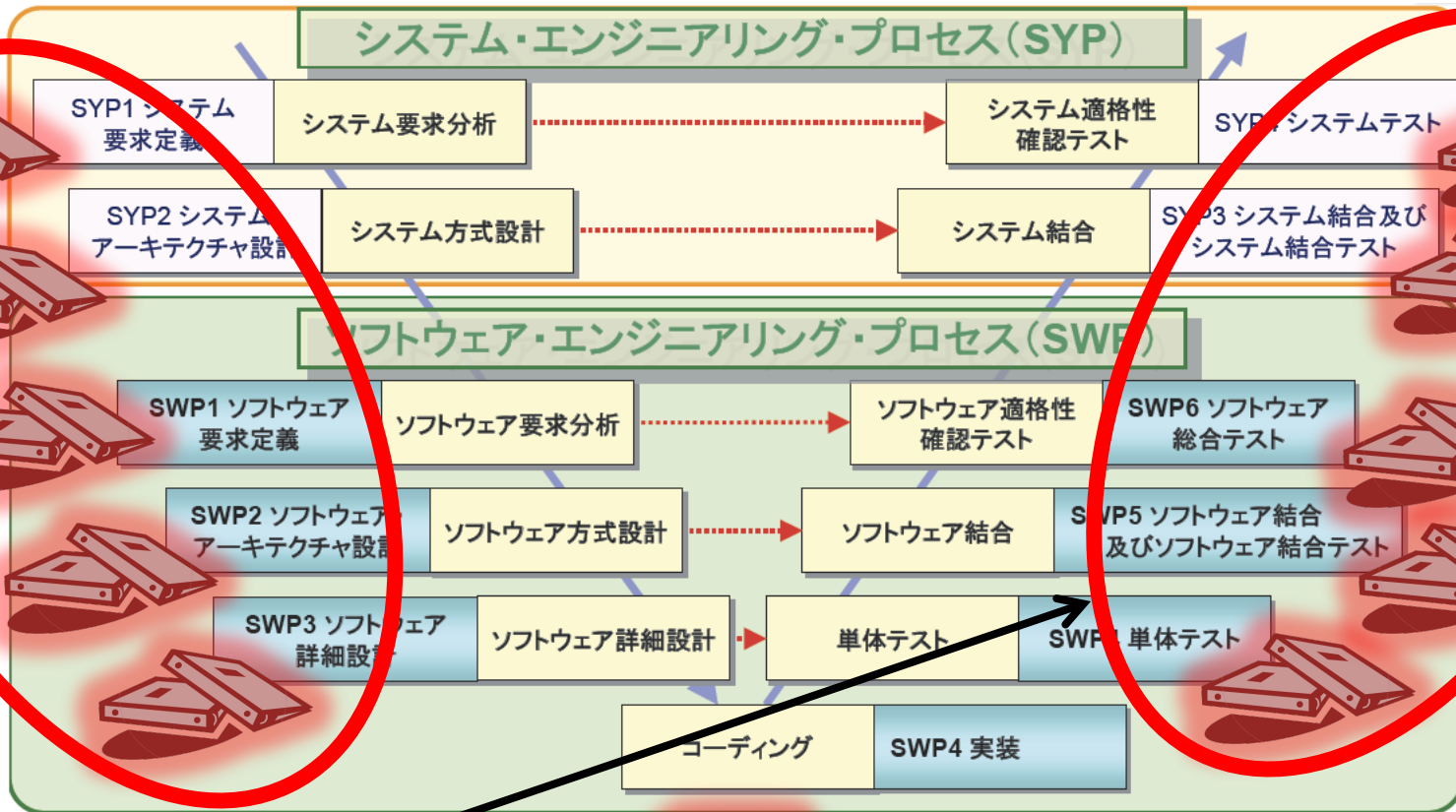
ASDoQを設立した目的は、(1)文書品質を提案し、(2)計測技術を求め、(3)改善し品質向上を目指す風土を醸成し、(4)文書品質技術の普及に努めることにあります。

本SIGでは、テスト工程において作成する開発文書を取り上げ、その文書品質を考察します。

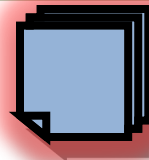
# このSIGで行うこと

- 対象者
  - テスト仕様書やテスト報告書を、書かれている方／読まれている方
  - 何をどうやって書けばよいかを、悩んでいる方
- こんな話題でお話が出来れば
  - あなたの会社では、どのようなテスト仕様書／報告書が書かれていますか？
  - テスト仕様書／報告書で、どのような工夫をされましたか？
  - 問題があるならば、何を改善すればよいですか？
  - 文書品質のメトリックスには何があると思いますか？

# システム開発プロセス



開発文書



← ソースファイル

# ソースコード品質は研究・実用化されている

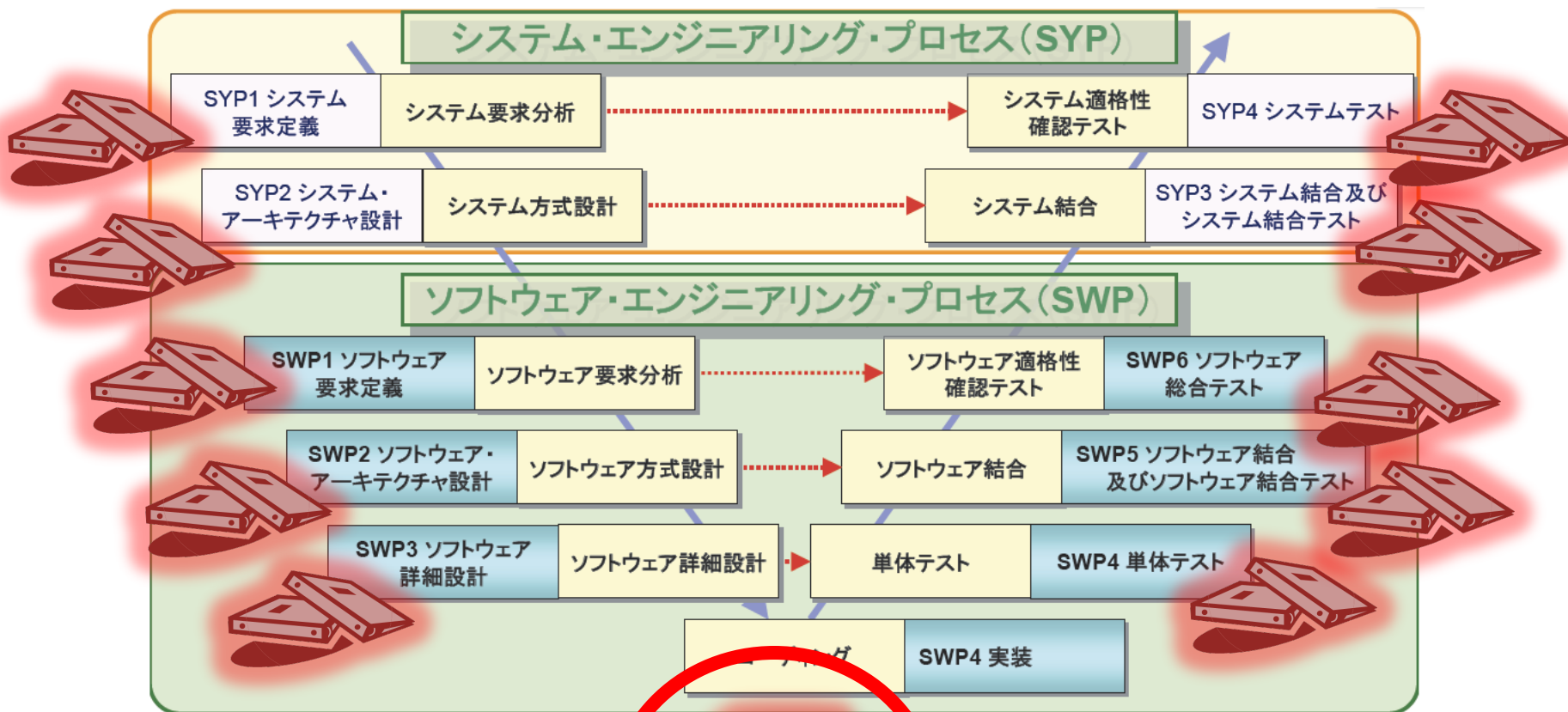
- 品質評価指標
  - コードボリューム(ソースコード行数など) (\*)
  - コード特性(制御文記述率など) (\*)
- 書き方に規準がある
  - MISRA-C(\*\*)
  - 業界, 会社, 納入先などのコーディング規則

品質が指標に基づき計測され、  
高い品質を目指す道筋がある。

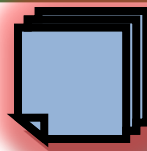
(\*)出典:組込みソフトウェア開発向け品質作り込みガイド, IPA/SEC (2008)

(\*\*)欧州の自動車業界団体MISRAが規定. クリティカルシステムでC言語を利用するためのガイドライン

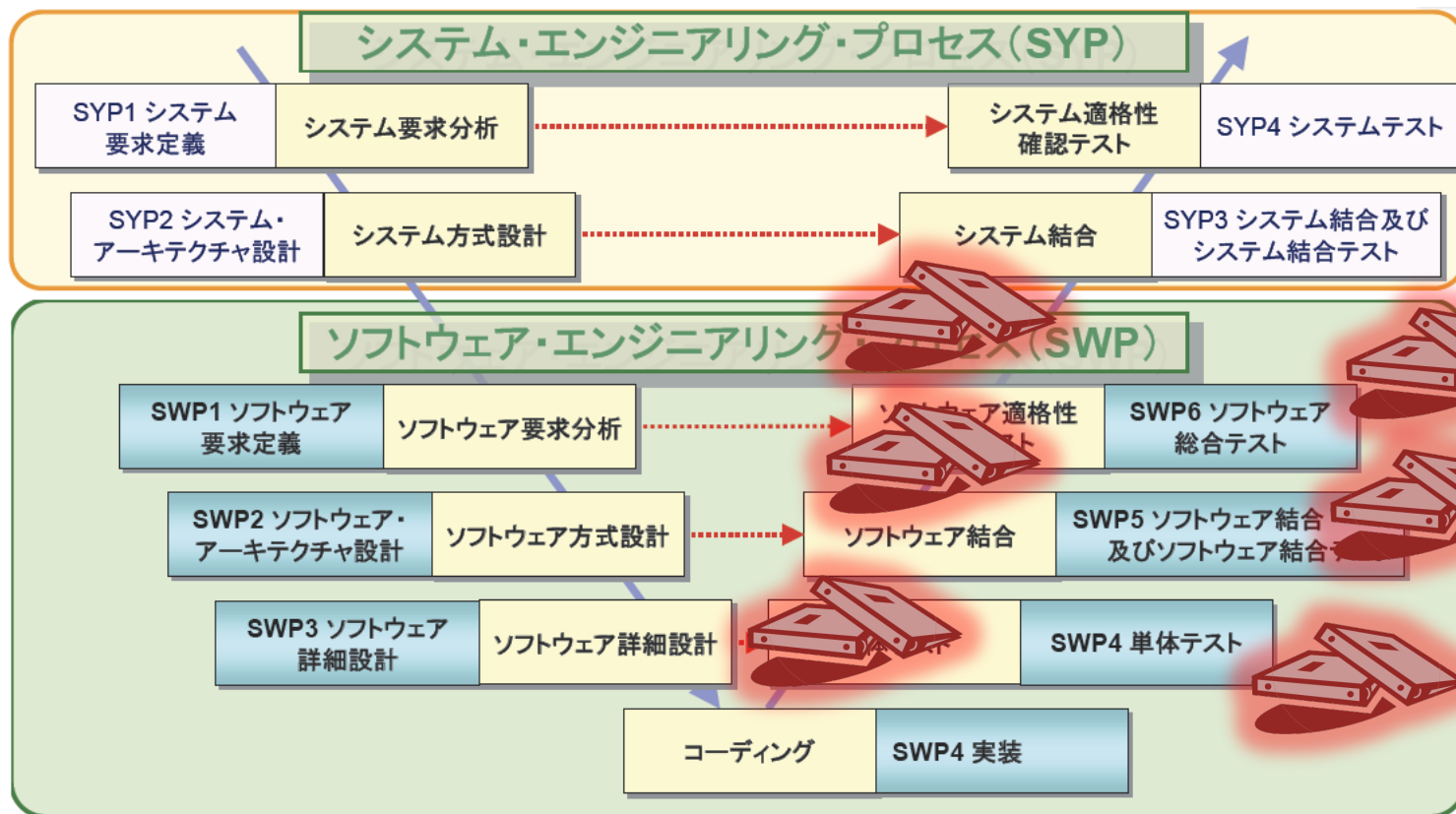
# ソースコードはここで書かれる



ソースファイル



# テスト工程では何が作られる？



## テスト仕様書と、テスト報告書

(注)テスト仕様書は、上流工程で作成される場合も多い。

# 開発文書の品質は？

- 品質評価指標は？
  - ドキュメントボリュームとバランス(\*)が提案されている
- 書き方の規準は？
  - 各社でフォーマットを定義している

形式は整っているが...

- 中身があいまいに書かれていませんか？
- 意味不明ではありませんか？
- 必要なことが書かれていますか？

**中身に踏み込んだ品質の検討がされてない**

(\*)ソースコード行数あたりのページ数と全ページ数あたりの各パートのページ数  
出典:組込みソフトウェア開発向け品質作り込みガイド,IPA/SEC (2008)



# [議論1]テスト技術者の考える品質は？

---

- そもそも、皆さんは、ご自分の仕事の「品質」を、どのように考えられていますか？

- 
- 
- 
- 
- 
-

# [議論2] テスト仕様書 と テスト報告書

皆様が作られているテスト仕様書とテスト報告書について教えてください

- テスト仕様書
  - 定義:
  - 納入の有無:
  - 作成者:
  - レビューの有無:
  - ページ数:
  - 目次:
- テスト報告書
  - 定義:
  - 納入の有無:
  - 作成者:
  - レビューの有無:
  - ページ数:
  - 目次:

# [議論3]テスト仕様書の理想形

---

テスト仕様書は、どのように書かれているのが理想でしょうか。

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# [議論4]テスト報告書の理想形

---

テスト報告書は, どのように書かれているのが理想でしょうか.

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

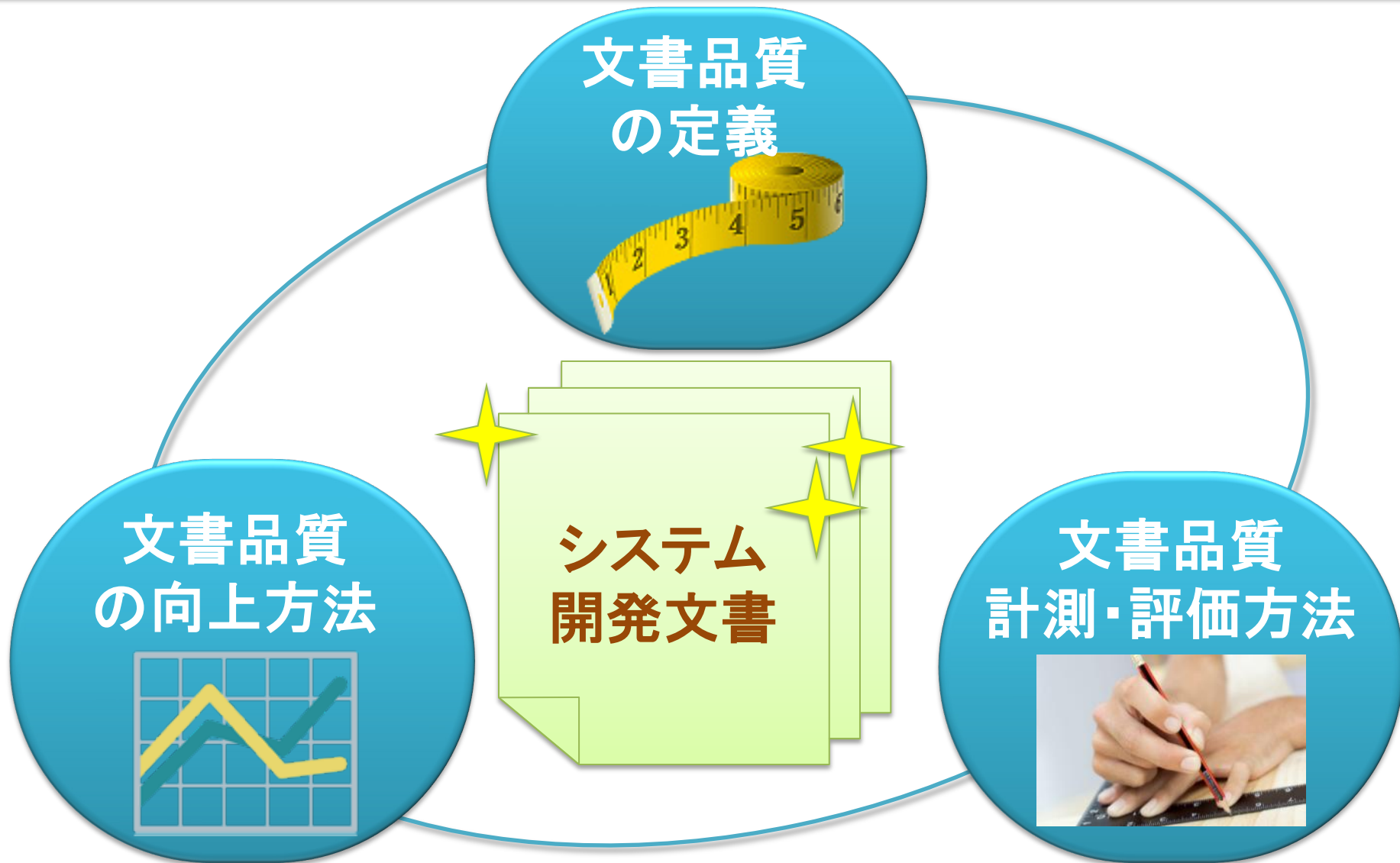
# [議論5] テスト関連文書の文書品質

---

「文書品質」と聞いて、テスト関連文書では何を想起しますか？

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# 開発文書品質への取り組み



# システム開発文書品質研究会 (ASDoQ)<sup>アスドック</sup>

種別	任意団体
会員	個人会員, 法人会員
会費	原則無料
条件	ASDoQ著作物の取り扱いに合意すること 著作権は, 著作者に属する 著作者は, 著作物の使用・複製・改変・再配布を認める
研究会	3-4回／年の頻度で開催. 技術発表, 作業部会報告, 運営打合せ
作業部会	必要に応じて随時開催. 内容: 会員がテーマ設定. 興味がある人が活動
シンポジウム	1回／年の頻度で開催. 内容: 講演, パネル, SIG, 技術発表など

# 運営組織

(2011.8.25 現在、五十音順)

---

代表幹事 山本雅基(名古屋大学)

---

アドバイザー 高田広章(名古屋大学), 田丸喜一郎(IPA/SEC)

---

幹事 栗田太郎(フェリカネットワークス)  
塩谷敦子(イオタクラフト)  
杉本明加(富士設備工業)  
中澤達夫(信州大学)  
藤田悠(長野工業高等専門学校)

---

運営委員 甲田勝(アヴァシス)  
坂本佳史(日本アイ・ビー・エム)  
平岡志磨子(CQ出版)  
森川聡久(ヴィッツ)  
山本修一郎(名古屋大学)  
山本樹(信州大学)  
山本佳和(デンソークリエイト)

---

事務局長 藤田悠(長野工業高等専門学校)

---



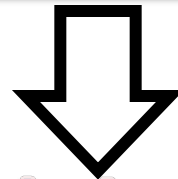
# 非競争領域で協業する

## ASDoQ

非競争領域



システム開発文書に対する  
文書品質の研究



研究成果

### 開発文書に関連する様々なビジネス

競争領域

品質計測

検証

技術者教育

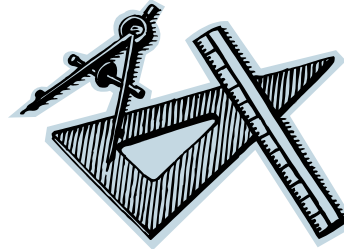
コンサルティング

...

# 研究成果(予定)

- 主たる成果物

- 開発文書の品質の定義
- 開発文書品質の計測方法
- 開発文書品質の向上方法
- 品質の高い開発文書例



研究成果の  
自由な利用を保証!!

- 期待する成果の活用例

- 文書品質の計測・向上
- プロセス品質検証の透明性向上
- 技術者教育カリキュラムの開発・実施
- アウトソーシング時の提供文書の品質向上
- 文書品質計測プログラムの開発・改良
- 文書品質改善ビジネスの発展

# 参加者募集中

## 入会申請, 問合せ先

Web: <http://asdoq.jp/>

E-mail: [secretariat@asdoq.jp](mailto:secretariat@asdoq.jp)  
(ASDoQ事務局あて)

ASDoQ

検索

